

科 目	生物基礎	学年・類型	3年 普通科	単位数	2
教科書	新編 生物基礎（東京書籍）				
副教材等	なし				
学 習 目 標	1 日常生活や社会との関係を学びながら、生物及び生物学への理解を深めます。 2 身近な生物やそれがもたらす現象を、観察・実験などを通して学び探究する能力と態度を身に付けます。 3 生物及び生物学の原理・法則を学ぶことで、科学的な見方や考え方を養います。 4 生物に関する知識がもたらした知識や技術が、社会に大きく貢献していることを学び、科学に対する興味・関心を高めます				
観点別 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	生物や生物現象についての概念や原理・法則などを理解している。観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	生物や生物現象から問題を見だし、見通しを持って観察、実験などを行い、科学的に探究している。	生物や生物現象に主体的に関わり、他者とも協力し科学的に探究しようとしている。生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度が養われている。		
評 価 方 法	各学期末に観点別評価と評点で、学年末には5段階評定、観点別評価と評点で評価します。観点別評価はA・B・Cの3段階で総合的に評価します。「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査、小テスト、レポートで判断し、「主体的に学習に取り組む態度」は提出物や授業態度などを基に評価します。				
	単 元	主 な 学 習 活 動			
一 学 期	1編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性  2章 生物とエネルギー  2編 遺伝子とその働き 1章 遺伝情報とDNA	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の多様性と共通性を学びます。</li> <li>細胞の働きとその特徴を理解します。</li> <li>生体とATPの関わりを学びます。</li> <li>酵素とその性質・働きを理解します。</li> <li>生命活動における代謝として、異化（呼吸）・同化（光合成）について理解を深めます。</li> <li>生物と遺伝子の関係を学びます。</li> <li>DNAとは何かを理解します。</li> <li>DNAの複製と分配方法を理解します。</li> </ul>			
二 学 期	2章 遺伝情報とタンパク質の合成  3編 ヒトの体の調節 1章 ヒトの体を調節するしくみ 2章 免疫のはたらき	<ul style="list-style-type: none"> <li>タンパク質の種類とその性質について学びます。</li> <li>タンパク質合成の仕組みを遺伝情報から理解します。</li> <li>細胞の分化の仕組みと遺伝子との関係を理解します。</li> <li>体内環境と神経系による調節の仕組みを学びます。</li> <li>内分泌系による調節の仕組みを学びます。</li> <li>血糖値の調節の仕組みを学びます。</li> <li>免疫の仕組みと疾患について学びます。</li> </ul>			
三 学 期	4編 生物の多様性と生態系 1章 植生と遷移  2章 生態系と生物の多様性	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物の植生と遷移について理解します。</li> <li>遷移とバイオームについて学びます。</li> <li>生態系における生物間の関係と人為的攪乱について学びます。</li> <li>生態系の保全について考えます。</li> </ul>			